



羅針盤

*時は駆け足で、もう10月。第5波のコロナ終息を見据えて、政府が国内すべての都道府県の緊急事態宣言解除を発表しました。ワンランクづつ縛りを解くのではなく、一斉解除の宣言が出されたのでした。やっと縄が解かれた、とワクチン効果を喜ぶ一方、本当に大丈夫なのか？と半信半疑の方がまだまだ多いようです。今こそ一人一人の慎重な意識が大切な時なのは、じつと耐えてきた遅れを取り戻そうと焦る気持ちを抑えて、そして、きっと来るだろうと言われていた第6波の前迄に市販薬などの整備が整い、皆が心から笑顔になれる日が来ることを祈りましょう。
*解除宣言で嬉しい10月となりました。紅葉狩り、食欲の秋、スポーツ秋と代名詞はいっぱい出てきますが、何といても天候が心配です。コロナ制限解除日に照準を合わせたように台風が列島をかすめていきました。伊豆の島々や房総地区での被害が少ないことを祈らずにはいられません。この後もまだまだ気温に変化が大きい日が続くようですので、行動範囲は少しずつ広げて秋を満喫いたしましょう。

Market Forecasts by Y. san -10月-

9月予測の自己評価 鉄スクラップ：× 銅：○ アルミ：×

鉄スクラップ

銅

アルミ

産業廃棄物

9月の指標価格である東京製鉄宇都宮工場特級価格は48,000円/トンでスタートしましたが、2回の下げて最終的には47,000円/トン。他の工場は後半から上昇し52,000円/トンで終了。10月は他の工場の価格からみても月初は上がると思いますが自動車の減産を考えると最終的には下がると思われます。

9月はLME9,400ドル/トン、国内銅建値1,100,000円/トンからスタート。月初上げた後下がりがだし、最終的にはLME9,260ドル/トン台 国内銅建値1,080,000円/トン。10月は中国の需要不安や大手国内メーカーの炉休等から需要は減るため下がると思われる。

LME2,700ドル/トンでスタート。中国のアルミ生産の制限をしていることから価格は上がっており最終的には2,900ドル台/トンでした。しかし自動車の生産が減少していることから10月はアルミ価格は下がると思われる。

コロナの影響で依然として廃棄物の発生が減っていますが、産廃業界でも最近ではテレワークが進み、請求書や契約書の電子化が進んでいます。もうアナログだと笑って言える時代は終わるでしょう。効率UPにITは不可欠です。IT活用で生産管理をして、利益確保に繋げることが重要課題になります。

Topics

10月は3R推進月間です - 3Rとサーキュラーエコノミー

10月は3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間です！

3Rは、ご存じのようにReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称です。

Reduce(リデュース)：廃棄物の発生抑制

Reuse(リユース)：製品・部品の再使用

Recycle(リサイクル)：再生資源の利用

経済産業省を含む3R(リデュース・リユース・リサイクル)関係8省庁*では、3R推進に対する理解と協力を求めるため、毎年10月を「リデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称:3R推進月間)」と定め、広く国民の皆様に向けて、普及啓発活動を実施しています。

*関係8省庁：財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、消費者庁

本年度は、経済産業省及び関係機関において、3R推進に関するイベントとして「リサイクル技術開発本多賞(第26回)表彰」等の開催が予定されております。詳細は環境省の次のURLからご覧ください。

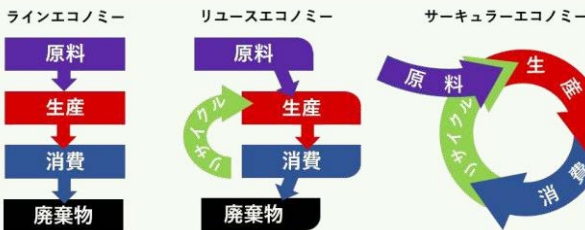
<https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211001009/20211001009-1.pdf>

さて、資源循環を進める考え方として、弊グループのミッションとしても掲げているサーキュラーエコノミー(Circular Economy=CE)が、昨今注目を集めております。このCEを、3Rとの違いという観点から、限られた紙面でありますので簡略に述べさせていただきます。

3Rは、さまざまなごみ問題や、ごみが環境にあたる負の影響を抑えるための前述の3つのR取り組みで、資源循環の代表選手として今も効果を上げて走り続けております。

一方、SDGsへの注目の高まりなどから、もっと広い視野での「循環」「持続可能性」を追求したCEの考え方が広まっております。

2050年までに100%CEを実現するという目標を掲げているオランダ政府は、下記の図を用いてCEの概念を説明しています。



オランダ政府はCEを、従来の生産、消費、廃棄の一方通行な経済である「リニアエコノミー」や、リニア・エコノミーの中でリサイクルを活用して廃棄までの寿命を長くする、リサイクル中心の「リユースエコノミー」とも明確に区別しています。リユースエコノミーをさらに推し進めて生産、消費、リサイクルが循環し、究極的には廃棄が発生しないというのがCEです。
オランダ政府HP From a linear to a circular economy より引用

Series

「私の休日」第4回目(最終回)



生産技術部 大野敏明

お久しぶりです、千葉工場 生産技術部の大野です。今回は、私を癒してくれる可愛い息子と娘の話をしたと思います。

私以外の家族は猫好きで、10年程前に押し切れ里親募集でラグドールの雌猫を飼い始めたのがきっかけとなり、1年後には私の知らぬ間にペルシヤの雄猫を迎え入れていました。

当時、私は単身赴任先の三重県から帰省する際は猫達を隔離してもらって程苦手でした。飼い始めて半年が過ぎたと思いますが、帰省したら猫達が放されていた事があり不快であったことを思い出します。私に猫の良さを知ってもらったためか、帰省するたびに放されていることが増えて行きました。ある時、玄関を入ったらラグドールの雌猫がチョココンと座って私を迎えてくれてました。その時、初めて猫を撫でてみました。お互いが相手を観察している感じでした。

こんな関係が1年半程続いた後、私は三重から千葉へ戻りました。そこからは大変な日々となり、猫アレルギーで体中がかゆい生活を1年位過ごしました。そうしているうちに、娘息子猫達が毎日私の帰宅を出迎えてくれ、かまって欲しそうに横に座っていることが多くなりました。気づけばアレルギーは治まり、日を追うごとに可愛くなり、徐々にスキンシップも増え、今ではおやつをあげることに楽しみもなっております。約4年前、廃棄物収集用コンテナの中に生まれたての子猫が5匹入っているのを発見した時に、思わず家に連れ帰り、病院で健康状態の確認をしてもらい少し大きくなるまでと思い育てましたが、家族にはすく迷惑をかけたことを覚えています。子猫たちがじゃれあうまでになったので、里親を探し、5匹全てを里子に出そうと思いましたが、家族が雄雌各1匹を家に迎え入れたいと言ってくれて、今では4匹の猫チャンズと暮らしております。



毎朝日課の神棚・仏壇・恵比須様・大黒様のお参りにはラグドールの「ささみチャン」が同行して、私と一緒に心静かな時間を過ごしてくれるので、まるで毎日休日を味わっている気分です。猫嫌いの私が、猫専用部屋を作ってしまうとは思っていませんでしたが、彼らのお陰で、仕事の疲れも癒されている日々です。

皆様にはつまらぬ話でしたでしょうか。4回も付き合って頂きありがとうございました。千葉工場にはこんな人がいるんだと、覚えて頂けると幸いです。

最後に、皆様のご多幸を願い私の最終回とさせていただきます。ありがとうございました。(了)

